

同窓会報

旭川工業高等専門学校同窓会

2005 July

2005年6月30日発行
旭川工業高等専門学校同窓会
会報編集委員会

〒071-8142 旭川市春光台2条2丁目

TEL: 0166-55-8000 (代)

同窓会ホームページアドレス <http://kyokusen-dosokai.jp>

印刷: (株)みらい印刷デザイン

【不屈魂】

新潟県山古志村「中山隧道」に思う

同窓会長 1M 中尾 義博

一期生の私が生まれた戦後の昭和21年から『神武景気』や『鍋底不景気』など12回もの景気の上下を繰り返して来ました。今回の『平成不景気』ほど質・量・期間ともにスケールの大きなものではありません。そんな中、各年代層の同窓生諸君が全国各地において頑張っておられるものと推察いたします。

3月11日母校にて第39期の卒業式があり、来賓として同窓会を代表して祝辞を述べさせて頂きました。この時代に飛び立つ卒業生の顔を見ていると、そして式の後の謝恩会での無邪気な盛り上がりを見るに付け、胸にこみ上げるものがありました。元気いっぱいに巣立って行く母校の若鮎たちに、幸多かれと祈って止みません。

さて、夢と言うものは、持っているだけでは決して叶わない。長い人生を送るうちに、夢は夢として終わってしまうのである。強い信念とたゆまぬ努力が必要です。違いがあるのは、①『目標を持つ』ことと②『出来る』との強い信念と、③実現に向かったの『たゆまぬ努力』である。

長さ922m、幅員1.2m、高さ1.8m、の小さなトンネルがあった。こんな小さなトンネルなのに昭和8年の着工から16年間もかかった。村民が手で掘ったからである。深い山に囲まれた集落である。生活物資の買出し、生産物の運び出しなど隣村に行くにも、4kmの険しい峠道を徒歩で越えるしかなかった。冬には積雪が4mの豪雪地帯である。急病人が出れば、吹雪の中、数人で背負い必死で町まで運んだ。何時間もかかり、間に合わなかった事も多い。

「山を掘ろう！」との誰かの呼びかけに住民の三分の一は「無理だ」と反対した。が、残りの人々は立ち上がり、昭和8年から交代で掘り始めた。農作業のない冬にツルハシとシャベルだけ、掘り進んだ。1年目は36m、途中戦争での中断もあったが、10年間で300mにとどまっていた。それでも彼らは、諦めなかった。戦後21年から再びツルハシとシャベルを手にし、24年5月1日、ついに直径30cmの穴が開き、トンネルは山の向こう側に繋がった。このトンネルは新潟県山古志村にある「中山隧道」である。平成10年に隣に「新中山トンネル」が出来るまでの50年間、住民はサイドミラーをこすりながら、絶妙の運転テクニックで生活道路として使っていた。ちなみに「中山隧道」は地震に耐えました。これを見ても、事を成し遂げるのは、不屈の魂と目標達成へのたゆまぬ努力である。私事ですが、家内の父親は外地からの復員後、このトンネル堀を体験しております。



今年の総会は、9月17日(土)4年ぶりに旭川で行われます。30代から50代そして還暦近いオヤジ達が、逢えばすぐに10代に戻ることができ、「おい、おまえ」の渦の中となります。恩師や友と感動の再会や思い出を作りましょう。そして、それを励みにこの不景気を乗り切りましょう！

今年は大変です。

今年の春は、例年よりはるかに寒いようです。連休中には17年ぶりに積雪があり、NHKで全国放送されました。あるいは、テレビで見た方も居ることでしょう。南極の昭和基地で越冬中の古崎助教授からは、最低気温が-25℃を記録したとの報告がありましたが、体感的には旭川の方が寒いようです。

南極が羨ましい理由が、まだあります。旭川高専は昨年4月に法人化しましたが、法人化に伴う種々の課題が怒涛のように押し寄せてきました。まず、法律で決められた学位授与大学評価機構の評価を、全国16高専とともに受審します。昨年、専攻科および4、5年生の教育の質についてのJABEEの審査を受けました。その成果があるとはいえ、一大事といってよいほど大変です。

来年から、4、5年生には大学と同様単位制が導入されます。いま必死にカリキュラムを検討中です。在学中は、勉強のみに専念された同窓生の皆さんには、当たり前前と思うかもしれませんが、1時間の授業に2時間の自習が義務付けられます。しかも、その自習の証拠が残らなくてはなりません。このへんが頭の痛いところです。

この自習については、おそらく大学全体に拡大していくと思いますので、高専が第一歩を踏んでいくことな

校長 前 晋爾



のでしょう。大学は大変でないかと人ごとながら心配しながら、高専についても真剣に考えなければなりません。

女子寮が完成しました。女子寮がある高専が旭川高専を含め53校になります。先輩校が51校にもなりますから、容易に女子寮生を迎えられるはずなのですが、これもまた教職員にとって大変です。我が校を卒業していった方々が必ずしも品行方正でなかった故か、何か事が起こるのではないかと心配される教員が多いのです。私には過剰に心配しているのではと思いますが、心配の真剣さはただごとではありません。思い当たる節のある方は、ぜひ防止策をお知らせ下さい。

以上多々ありますが、学生は勿論教職員も元気に職務に専念することが出来るよう、心がけているところです。私だけの感想かもしれませんが、旭川高専が旭川地域の中で存在感を強めつつあるように感じています。このようなときには、同窓生の皆さんの学校への支援が、ぜひ必要です。どんどん学校と同窓会の連携を強めていくことができれば、こんな有難いことはありません。ぜひ、よろしく願います。

退職にあたって

元物質化学工学科 教授 飛弾野 哲宏



昭和43年1月4日に着任し今年3月で37年と3ヶ月間勤務することが出来ました。これもひとえに教職員の皆様方の絶大なるご協力があったからだと感謝しております。着任した当時は工業化学科が設立して間もない時期で教官4名と在籍学生は第1学年と第2学年だけでした。したがって年度進行する学年の新しい学生実験準備等で毎日毎日が忙しく1週間が3日で終わる様な感じであり充実した日々でした。15歳で入学、20歳で卒業、平均年齢17.5歳、いつもこの新鮮で活気ある流れの中で37年間、講義、学生実験、卒業研究指導、クラス担任、進路指導およびクラブ顧問等でいつも若い気持ちで楽しく学生と接することが出来たことがなによりも強い印象として思い出されます。そのせいか？私は今でも、外見はけっして若くはありませんが気持ちの若さはまだまだ在校生には負けなつもりでおります。

また私の専門分野である糖類に関する産学連携で道内の製糖工場関係の多くの技術者と20年間交流をもつことができ、かつその内容をいつも工業化学科およ

び物質化学工学科の多くの学生に20年間伝えることが出来ました。学生がいつも私の話を真剣に興味をもって聞いてくれたことなどもまた強い印象として思い出されます。

私にとって37年間の毎日毎日が大変意義があり、良い職場であった事に感謝するとともに教職員、在校生および第一線でご活躍されている多くの卒業生の皆様方に厚くお礼を申し上げます。

最近になって旭川高専の独立行政法人化、入試状況の変化および入学してくる学生の多様化等で多くの問題が有るようなにも思われますが、吾37年間お世話になった『旭川高専は永遠不滅です』。どのような難局に遭遇しても教職員が一丸となって事にあたりいつも学生を中心にして最善をつくすことで旭川高専が益々発展していくことを私は強く確信しております。

最後になりましたが教職員、在校生および同窓生の皆様方のご健康と益々のご発展をご祈念いたし、お別れいたします。さようなら

『旭川高専は永遠不滅です』を私の退職の言葉とさせていただきます。

「定年退職して」

元機械システム工学科教授 佐藤 知敏



昭和40年2月に旭川高専に奉職し、40年2ヶ月間勤務して本年3月末で定年退職しました。健康で楽しく仕事をさせて頂いたことに心から感謝しています。

この間、機械工学科の学生を3年、4年、5年と連続で担任したのが4回、学科主任（現在は学科長と言う）、情報処理センター長、寮務主事、そして最後の3年間は技術開発相談室長を勤めました。

いずれも難しくやり甲斐のある仕事でしたが、皆さんのご支援とご協力により、何とか全うする事が出来ました。

研究面では専攻科設置のためにも必要と言う事で、学位（博士号）に挑戦し、何とかまとも上げました。これも私と卒業研究に取り組んだ卒業生諸君のお陰と

皆さんに心からお礼を申し上げます。

現在、仕事としては、現職の時から続いている溶接評価試験の評価員（以前の検定委員）の仕事と高専には非常勤講師として物質化学工学科5年生の機械工学概論を教えに行っています。

趣味としては、時間に制限なく囲碁に打ち込みたいと言う夢が適うようになりました。インターネットを通して囲碁が出来ますので、距離、地域に関係なく誰とでも囲碁が出来ます。囲碁をする人とは是非一度対戦しましょう。それから2～3年前よりパークゴルフをするようになりました。

近くにパークゴルフ場がありますので、近所の人と毎日でもプレイ出来ます。健康のためにも運動代わりに良いと思っています。今後ともよろしくお願ひします。



平成15年度決算報告並びに平成16年度予算案

収入の部 平成15年度(平成15年8月1日～16年7月31日)、平成16年度(平成16年8月1日～平成17年7月31日)

科 目	15年度予算	15年度決算	16年度予算	備 考
前年度繰越金	8,751,839	8,751,839	10,604,172	
新入会員入会費	1,800,000	3,517,690	3,525,000	平成15年度卒業生、平成16年度入学生 140×65%×15,000+160×90%×15,000
未納会員会費	200,000	297,620	300,000	振込20名 20名程度×15,000
5 年 会 費	800,000	966,850	900,000	2、7、12、17、22、27期(振込163名)
雑 収 入	5,000	42	828	預金利息
収入合計	11,556,839	13,534,041	15,330,000	

支出の部

科 目	15年度予算	15年度決算	16年度予算	備 考
会誌発行費	800,000	1,001,573	1,050,000	会報印刷、送料、ホームページ運営費
総会案内・調査費	500,000	275,224	300,000	会費請求、データ修正費
会議費・旅費	500,000	439,981	500,000	総会、連絡協議会等
慶 弔 費	50,000	28,566	50,000	(15年度)永井、秋田名誉教授、南部技官他
事 務 費	50,000	131,585	100,000	各種印刷代等
学校行事補助	100,000	100,000	100,000	卒業生壮行会
学生会行事補助	50,000	0	50,000	
支部活動費	450,000	452,940	450,000	4支部×100、総会開催地区50、振込料
学校運営費補助金	0		500,000	15年度予備費
予 備 費	30,000	500,000	0	(15年度)学校運営費補助金
支出合計	2,530,000	2,929,869	3,100,000	

次年度繰越金	9,026,839	10,604,172	12,230,000	
--------	-----------	------------	------------	--

平成15年度末現在同窓会財産10,604,172(普通預金、郵便振替口座)(平成16年7月30日)

監査の結果、正当なることを認めます。平成16年9月10日 会計監査 1M 石羽沢 敏明 1E 三浦 敏章

定年退官(平成17年3月31日)

機械システム工学科 教授 佐藤 知敏
電気情報工学科 教授 齋藤 清
制御情報工学科 教授 小林 雅晴
物質化学工学科 教授 飛弾野 哲宏
一般理数科 教授 本山 満雄

訃 報

2005.05.01逝去 3 E 阿部 雅志 殿 2004.06.17逝去 3 M 谷岡 徳夫 殿
2005.03.05逝去 名誉教授 石黒 久長 先生 2004.02.17逝去 名誉教授 秋田 順康 先生
2004.12.30逝去 2 E 六平 正博 殿 2003.04.16逝去 10 M 巨理 勝彦 殿

旭川高専の無線クラブの思い出

旭川支部 10E 岸田 賢治



旭川→静岡→函館→大津→旭川と転勤を繰り返し、ほぼ10年ぶりに旭川に戻ってということで先日、歳も忘れて深夜3時近くまで3・6街で遊んだ同期（10期）の公私ともに大変お世話になった古村さんより、何でも良いので文を書けというので寄稿させていただきました。1年生の時、種田先生に寮に来ていただいて毎朝起こしていただいたりとか、夏休みを全て捧げて測量のアルバイトで同じ電気科の山本(秀)さんと天塩川沿いに中頓別まで行って地図を作った話とか、毎年の進級会議の常連だった話とか、いろいろ考えたのですが、今は出身校とはおよそ全く関係のない百貨店でそれもレディース部門にいるけども、実は一応電気科出身だったということと、この同窓会誌を見ても、高専の無線クラブのことが書いてなかったので、35年前を思い出して書いてみました。

私は中学時代はラジオ少年でした。札幌の中学から進学にあたり自分なりに調べて当時無線クラブがあって、プールもあったのが、札幌西高と旭川高専で、迷った末に寮生活で親元から離れられるということもあり西高にはいかず合格をもらって高専を選びました。

旭川高専アマチュア無線クラブは部室が化学棟の階段下の小部屋にあり、コールサインはJA8YBK。ここから少し専門用語になります。入部したときにあった装置(リグ)は八重洲のFT-200というトランシーバーに真空管やトランスがむき出しの自作電源。アンテナは校舎の屋上の一番高いところにあり、アンテナにはモーターがついており、これを無線室より360度コントロールして回転させる事ができました。通信のコンテスト(無線の競技会で北海道1位か2位になったこともあります)でアンテナの移設の時は、裸足のサンダルでよく屋上のさらに上にはしごで登れたなと思います。それは地上からの高さが約20mありました(今考えると怖い)。このアンテナは素材が竹と銅線で作られた2エレメントのCQ(キュービカルウッド)です。八木のような水平系と異なり垂直系のアンテナのせいで打ち上げ角も低く、DX(海外通信)では他の日本の局よりも良く飛びました(=電波が相手に強く届いていた)。このアンテナもマウント部分は機械科の工場で作られており、そこに太目の竹を十字にして取り付けてありました。春光台の強い風にも良く耐えており、それを作製した当時のメンバーは3・4年上の先輩が主力でその技術力はすごかったなと今でも思います。(以後メンバーについては名前よりコ

ールサインで)化学科なのに電気科より回路に減法詳しくメーカー製のリグの改造やSSBのトランシーバーを作っていたJA8GZZ、SSBが全盛になりつつあったのに地味に50MHzの自作AM機で交信をしていたJA8KJO、アマチュア無線家を頼って船で(!)オーストラリアに渡り1年も休学したJA8CAU。CAUが豪州にいたときにはYBKでの通信は良い思い出です。

その後、家を建てるに当ってタワーも一緒に立てたのはそんな高専時代の楽しい無線体験にあったと思います。卒業後しばらくして家の新築とともにタワーを立てたのがちょうど88年。それから90年にかけては、サイクル21という太陽の黒点活動も活発なおかげで、南極やアフリカなど150を超える国々と交信をしておりました。そんな中での思い出は、ベルリンの壁が崩壊したそのときに東ドイツの局がこれから自由になるといったことや天安門事件のときに中国の局に今どうなっているかと聞いたときに妨害にあって交信不能になったりとかありましたが、メリットは大いにありました。

スウェーデンのグスタフ国王(毎年ノーベル賞を渡す人です)が来旭した際に会社を視察され、通訳をする機会(英語)があり、無線で教えてもらってスウェーデン語を少し使って喜ばれサインをいただきました(当時の坂東市長にずうずうしいといわれましたが)。知人に通訳を頼まれ2度の渡米での交渉の時では、米・加の無線の友人達からアドバイスをもらえたりして大いに役立ちました。ところでこの寄稿文を書いていて先輩の名前は思い出せなかったのですが、「すらっと」コールサインはしっかりと思い出したのはビックリしました。10年で戻ってきた自宅には時代の流れもあり、アンテナもタワーも撤去しており、もはや無線は思い出だけとなってしまいました。

いまは高専はロボットが大活躍みたいですが、そういった趣味もその後の仕事などに思わぬ場面で役立つこともあると思いますので後輩の皆さん是非楽しんでください。

溜まり場としての「酒峰会」をもっと活用してみませんか?

札幌支部長 7M 倉内 栄一

北海道新幹線の着工が決定し、多少北海道経済にも明るさが見えてきましたが、財政再建団体への転落の危険性が残っており、さらに今年は、例年になく肌寒い日が続く、農作物の生育に影響を与えそうですが、全国の同窓会会員の皆様方はお元気でしょうか?

札幌支部の溜まり場「酒峰会」の定例会(今年は2月2日・4月4日・6月6日・8月8日・10月10日・12月12日・毎回18時頃から開催)を中心に地道に交流を深めています。毎回6名~18名程度の参加で小人数ですが、ここに参加

した人たちが、各期毎にそれぞれが集まって交流を深めているようです。その広がりが大きく前進する事を期待しております。各期毎のイベントの際に多少の予算であれば、札幌支部の理事会で検討させていただきますので、倉内まで連絡下さい。

最近、杵築先生は毎回出席して下さい、今だから話せる学校の様々な歴史を語って下さり、在校当時には表面的にしか理解できなかったことの認識を深める事ができました。今では、杵築先生の出席が大きな楽しみとなっております。飲みニケーションの色合いが濃いと思われがちですが、アルコールの苦手な人、年代、職業、地位、収入、心情、趣味などが違う方も、是非「酒峰会」参加をしてみませんか？食事をしながら、お互いの思いの丈を十分に語り合い、「人間力」を高め、時には傷ついた羽を癒し、明日への活力に、ここで広がった人間関係を名聞妙利に使うのではなく、より社会の為に大きく貢献できることを願っております。さらに、夫人、子息同伴なども大歓迎です。また、女子同窓生の参加も大歓迎です。札幌近郊に在住の皆様方、並びに札幌に私用公用でこられる方々もお待ちしております。その際は是非同期の方々にも一声かけて頂ければ幸いです。人数がまとま

れば、事前に倉内まで一報下さい。

同窓会は同窓生のために存在しているものと認識しておりますので、小さな駒がたくさん回っていくのが良い方向ではないかと思っております。運営上の提案などがあればいつでも連絡を下さい。

4月4日の定例会に参加された、5Mの五十嵐先輩がおいしい日本酒を持参してくれました。そして4月9日(土)江別市の郊外にそば屋「コロポックル山荘」(住所:江別市西野幌927番地・TEL090-3892-8281・営業日-火曜~日曜・11時~14時)をオープンされる前祝いをしました。



'05年4月4日の酒峰会にて
5M 宮崎,杵築先生,1E 笠井,5M 五十嵐,1M 林,2M 佐藤,3M 山口,3M 土井,7M 倉内

初代学生会長との 40年ぶりの再会

東日本支部 1M 高梨 博義



昨年、東日本支部の「じょうの会」に珍客到来、誰だろう中村正人さんでした。「中村正人」といっても、もちろん、ドリカムの中村正人とは別人です。中退して卒業はされなかつたので4期生以降の方にはご存知ないでしょうが、初代学生会長にして初代応援団長という1期生、いわば旭川高専のオリジナルメンバーの一人です。

昨年、東日本支部の「じょうの会」に珍客到来、誰だろう中村正人さんでした。「中村正人」といっても、もちろん、ドリカムの中村正人とは別人です。中退して卒業はされなかつたので4期生以降の方にはご存知ないでしょうが、初代学生会長にして初代応援団長という1期生、いわば旭川高専のオリジナルメンバーの一人です。

稚内在住の中村さんが昨年7月に上京されたさいには、彼をよく知る1期から3期生までの有志が40年ぶりの再会ということで、じょうの会の翌日の日曜日に夢の島のバーベキュースペースでジンギスカンをやりました。そのおりに彼から大量の毛蟹・タラバガニの差入れがありましたが、その迫力に我々のジンギスカンが震んでしまっただけでなく、周囲のチームのバーベキューもホームレスの貧しい食事に見えてしまったほどです。

その後、彼は11月とこの3月にも上京されましたが、彼は1年程前からゴルフを始めたとの事だったので、3月には、ゴルフ+花見+ジンギスカンをやろうということになり、じょうの会のあった翌日の3月27日に、千葉でやりました。そのときのスナップが同窓会のHPにアップされています。

<http://kyokusen-dosokai.jp/sibu-h/newfile48.html>

ご覧いただければおわかりのとおり、ここでも中村さんからカニの差入れがあって、カメラマンも思わずカニのアップを撮ってしまいました。

どうも彼の背後にはロシアン・マフィアと結託した大掛かりなカニの密売組織がありそうです。そういえば、ベレー帽にサングラス、それに白っぽいアゴひげの彼の風体には何となく犯罪の影が漂っているように感じられませんか？それに、犬と一緒に写っている美女も「犯罪の陰に女あり」を連想させますし。

私は「警察にタレ込むゾ」と彼を脅して、口止め料にカニを要求し、毎朝毎晩カニ三昧の日々を送ることを、いま密かに画策しています。うまくいったら皆さんにもおすそ分けしますので、希望者は高梨まで。

なお、彼への脅迫をネタに私を脅迫するのは、お控えください。その脅迫をネタにあなたが脅迫され、その脅迫をネタに…と堂々巡りになり、その都度カニの量が幾何級数的に細って、しまいには爪1本なんてことになりかねませんから。

このつぎに中村さんが上京されるのは7月ですが、犯罪とは関わりたくないと言う小心者の意見を汲んで、次回はカニは無しにして、ゴルフとジンギスカンだけにしようかと思いを巡らせています。



東軽井沢

東日本支部 6M 鈴木 哲弘



スコアに繋がったようです。本人曰く、“出来過ぎです、でも燃えました!!”との事ですがどうしてどうして、スポーツジムに通いながら努力して来た結果ではないでしょうか。“努力は報われる”、忘れかけていた言葉ですが、ゴルフに限らず私たちのライフワークの中でもキーワードにして行きたいものです。

そして、今回初参加の玉井さん(4M)、久々に同窓の皆さんとお会いし、ゴルフは二の次?ではないですが、学生気分になって楽しんでいました。

次の日は、元気な中尾会長を始めこれも恒例になった好き者同士の反省プレーを行いました。

東日本支部恒例の旭専OB会コンペも、早いもので第7回を迎えました。

毎年5月1日と定例の日にして同一の会場で開催されますが、遠くは北海道(1M:村上さん)そして京都(2M:堤さん)からと遠路遥々駆けつけて頂きました。

因みに村上さんは昨年度の優勝者で、重いカップを抱え連覇を夢見てやって来た様です。

幸いに、今年は何時になく好天に恵まれ、スコアに言い訳の出来ない?ゴルフ日和となりました。また山桜を鑑賞しながらのラウンドで、気持ち良くラウンドされた方、こんな筈ではないのにと迷いながらラウンドされた方等、GW中の一日を思い思いのゴルフで楽しみました。

ゴルフプレー後は、昨年からは始めた北海道のジンギスカンをお腹一杯になるまで食べながら、思い通りに行かなかったゴルフの反省、お互いのスコアを見ながら**タラレバ**の会話に弾みました。

肝心のゴルフの結果ですが、既に東日本H.P.に掲載されておりますが、何時になくアンダーパーの方が4人と多く、徐々にでは有りますが参加者の日頃の成果が現れて来ているように思います。特筆すべき事は、紅一点の立石さん(3E)が第二位に躍進した事です。昨年までは自分のゴルフで精一杯の様子でしたが、ゴルフを楽しむ余裕が見られ、それが好

きと本チャンで取れなかったチョコレートのリベンジだった事と思います。誰が餌食になったかは『じょうの会』のお楽しみに!!

最後に、今回もゴルフではなくひたすらジンギスカンが食べたくて参加頂いた村中さん(2M)、松原さん(3M)、ジンギスカンパーティの段取り/調理と有難う御座いました。来年は是非箸をクラブに変えて参加頂きたいものです。

またこの同窓会報を読まれた若い同窓の皆さんも、声を掛け合って参加頂ければ大歓迎です。

来年また東軽井沢でゴルフ・ジンギスカンパーティでお会いしましょう。



愛知万博と大阪万博との 奇妙な一致

西日本支部長 2M 西原 仁

皆さん、お元気ですか。

当支部は、相変わらず「微速前進」のモトで進んでいます。

今年は、当支部総会はありませんが、その代わりに、7月9-10日に親睦一泊旅行を滋賀県・近江八幡市の近江八幡国民休暇村に予定しています。琵琶湖畔の非常に美しく、且つ大衆料金（一泊二食12,500円）で大いに楽しく、有意義な集いとなるでしょう。又、9月の本部総会への参加も今から楽しみにしておりますので、本部及び旭川支部の皆さん、その節は宜しくお願いします。

さて、以下の論説は、支部員J氏（匿名希望）によるものです。



35年ぶりの万博は、愛知県を会場とし、連日大盛況となっている。

又、「愛・地球博」の名に相応しく会場建設と展示内容にも自然・環境保護に配慮されたものとなった。（但し、主催者側は止むを得ない譲歩だったらしいが。）

1965年の東京オリンピックが大成功に終わった5年後、「こんにちは、こんにちは!」と三波晴夫の歌う軽快な調べに乗せて、全国から人々が大阪・千里丘の地に、民族大移動の如く押し寄せた半年間。

23歳の私は、万博のテーマ「人類の進歩と調和」に何の疑いも抱かなかった。

当時、高専卒業後の就職先であるN社を辞し、生活の場も東京から大阪に移した。（勿論、万博見物の為ではなく。）次の人生を模索しつつ、取り敢えず運転免許を取得した後、大阪市内の小さな会社に再就職し、毎日配達の仕事に追われていた。

と言うのも、改めて大学に進んで、生涯の職を見出す事に全力を傾けており、そのような状況で、万博を見に行くこと（会社から電車で僅か40分の距離にある）は、欠かせない予定となっており、毎日その時をわくわくした思いで待っていた。

さて、本題に戻ろう。大惨事は、この万博が佳境に入り、そして誰もが予想もしない時に突然起きた。

天神橋筋六丁目（通称、「天六」）工事現場のガス爆発である。原因は、漏れた都市ガスに事故車の火花が

引火して起きたとされているが、本質は安全を軽視した、工事進行第一主義にあったとされている。

お祭り騒ぎに浮かれていた会場の目と鼻の先で、約110人の死者を含む多くの人々が塗炭の苦しみを味わったのだ。

そして、今回107名の死者を出したJR西日本の列車事故である。実は、この路線は事故現場の尼崎から東西線・学研都市線と続いており、問題の「快速」は私もよく利用する電車であり、当日もそんな大事故があったとは知らず、一時間後に乗っていたのである。幸いにも、私の関係者は含まれていなかったが、決して他人事とは思えない。調査が進むにつれ、やはり、事業当利が最優先され、安全が軽んじられていた事が明らかにされている。これ以前にも、同じJR西日本によって信楽鉄道路線で列車の衝突事故により、40名の犠牲者が出た事も忘れてはいない。

35年経ち、科学技術は飛躍的に進歩しても企業の体質（正確に言えば、経営者の理念や方針）は旧態然であり、その結果何時も庶民が犠牲となるのだ。

プロジェクトX的美談はそろそろ終わりにして、真剣に企業姿勢を正し、真の国民福祉に向かってほしいものだ。以上。

では、皆様のご健康を祈りつつ。

こんにちは。

28S 外崎 裕二



制御情報工学科で6年間、先生方にお世話になった外崎です。

早いもので卒業してから、もう11年も経ってしまいました。

私は卒業する時に、身の程知らずに北見工大を受験して見事失敗し、皆に遅れながらの就職活動で、何とか東京の建築設備機器のメーカーに就職することができました。私たちの卒業年はちょうどバブルがはじける前の年で、まだゆとりがあった時期のように思えます。特に仲の良い成績は良くない友人達はDOCOMOでもDDIでも行っておけという時代でした。今では4大卒でもなかなか入れない会社なのに、たった10年で私達を取り巻いている状況はあっという間に変わってしまうことをつくづく実感しています。

その後バブル経済がはじけ、建築業界の底の見えない価格

の下落と戦いながら、日本各地を転々としていました。そんな時に北海道拓殖銀行が破綻してしまい、北海道が経済的に落ちていく姿を遠くから見えることになってしまい、実父が経営している旭川の建築設備施工会社の手伝いをするために転職しました。取り巻く環境は価格競争の真っ只中で、見積もりを出せば次に他の競合会社はその価格の下をくぐるという、堂々巡りを続けておりました。その様な中ひたすら努力するしかなく常に進歩していることを要求される状況でしたが、努力を続けていることが最近少しづつ形になって成果が出始めていると手ごたえを感じ始めました。

私の友人の卒業生達も数人独立起業していて、いまや第一線で活躍しています。旭川でも元気のいい企業のトップクラスには、30代の年齢の方がいる程度いらっしゃいます。私もホリエモンさんの様にはなれなくても、今をがんばらなければとつくづく思っています。

今の時代にあわせて、することをきちんとすれば報われる時期が始まったような気がします。それでも報われないときは人材派遣会社か同窓会の先輩達に相談するのも良いかもしれませぬ。今年は同窓会も旭川で開催しますので気分転換にでも皆さんが集まってくれることを楽しみにしております。

私の高専

6E 佐竹 司兆

昭和44年10月28日夜8時頃、私は明誠寮の集会室で寮生集会の開会を待っていた。突然、寮務主任のH先生が血相を変えて飛び込んできた。「学校が封鎖された。」

集会は流れ、私は学生玄関の前へ事態を確認に行った。玄関はロッカーでバリケードされ、自由に入る事はできなくなっていた。学校は封鎖されたのだ。チャリチャリと初雪が落ちていた。

36年経った今でも鮮明に覚えている、私にとって衝撃の出来事だった。70年安保の前年、東京の全共闘闘争に遅れる事1年、旭川高専に全共闘闘争が吹き荒れた年であった。12月に入って機動隊が入り、封鎖は解除された。勉強する事の面白さを漸く少し判りかけていた私にとって、学校という場を奪われたことは、取り返す事のできない大きな出来事だった。

現在、私は東川町議会の議員をさせていただいている。町づくりの提案・チェック係として、理事者から一定の距離を保ち、是々非々の立場で議員活動をしている。

強制される事の嫌いな私は、説明も無く押し付けられる事には素直になれない。追従もしない。しかし、是は是として互いに協力し、地域づくり町づくりを進めている。

戦後60年、地方自治の再構築の時代に、住民自治・地域自治の役割を再認識し、どうすれば寂れない地域づくりが出来るのか、勉強している毎日である。36年前に培われた、強制される事を嫌う、諦める事の出来ない精神を生かしたいものである。



東川町唯一の女性議員他7名と中国旅行

「先生こんにちは!!!」 ～原田一典先生を訪ねました。～



先生は昭和37年旭川高専創設とともに赴任され、歴史の授業を担当され、48年旭川医大、平成11年より札幌国際大学の教授を歴任されました。その一方で昭和63年より旭川市史の編集委員長として、すでに5巻を出版されました。今日はその職場である旭川市総務部編集課の編集委員長室を訪ねました。

Q.先生こんにちは。いつもお元気そうですが、秘訣は？また、おいくつですか？

A.昭和3年生まれの77才です。秘訣といっても特にないが、3時の

ラジオ体操と好きな研究をやっていることかな。朝9時に出てきて晩7時過ぎに帰るのが日課で、以前は日曜も出たが、一昨年入院してからは、日曜は休むことにした。あと5巻発刊しなければならぬが、どこまで頑張れるかな。

Q.何故歴史を志したのですか。

A.旧制中を出て海軍に入隊したが、3ヶ月で終戦。その後、生きる支えを求めていたが、大学で歴史を学び、何か人の役に立ちたいと考えた。日本近代史の中でも北海道地域史を選び、現在に至ったということかな。

Q.高専では、気軽に接して頂きましたが、先生自身はどんな印象でしたか。

A.創設期の学校で、学生も教官も事務職員も、皆やる気があり、活気がみなぎって、とても楽しかった。悪いことをする学生もいたがかわいいものだった。

★今日はありがとうございました。お元気でお過ごしください。

訪問者 3E 平間 順一

『職場探訪』

～鷹栖町役場大沼哲也くん(30E)を訪ねて～



Q.何故役場に入ったのですか。どんな仕事をしていますか。

A.地元をいたくて、試験を受けて卒業とともに入庁しました。まず、医療年金係の窓口を担当、次に建設課で都市計画を担当、団地造成の準備を手がけました。



その後、税務課を経て現在総務課で庁内LANの管理、文書管理や情報公開の仕事をしています。LANケーブルを張ったり、ちょっとしたトラブルは直したりで、高専でコンピューターの勉強が役に立っている。

Q.ところで、鷹栖町は、トマトジュースの「オオカミの桃」などで有名ですが、今日は同窓会のみなさんに特にPRしたいことがありますか。

A.あります。私がかつて手がけた団地「シンフォニータウン」です。何と言っても安い！！1区画340万円からです。緑豊かな田園地帯で、旭川市街、高速道路へはすぐ近く、空港にも40分のアクセスです。買物や医療も便利です。母校の旭川高専もすぐです。お陰さまで、町は人口増となりました。先輩のみなさん、定年後の住いにも最適です。是非一度見に来て下さい。

鷹栖町役場総務課 大沼哲也

TEL0166-87-2111

<http://town.takasu.hokkaido.jp/>



訪問者 3E 平間 順一

旭川市Uターン求人情報カード登録企業一覧

・この一覧表にはUターン採用企業の事業所名、業種、必要とする人材等を掲載しています。

・関心のある企業、就職希望の企業に対し自ら連絡を取って就職活動を進めてください。

・Uターン就職希望の場合は、下記へご連絡ください。

(旭川市6条通10丁目 旭川市第3庁舎3階
旭川市商工観光部総務労政課 Tel.0166-25-7152)

http://www.city_asahikawa.hokkaido.jp

『旭川市Uターン情報コーナー』

旭川市ではUターン就職を促進するため、旭川市東京事務所及び旭川市商工観光部総務労政課内に「Uターン情報コーナー」を開設しております。

・旭川市東京事務所 〒102-0083 東京都千代田区平河町2-4-1日本都市センター会館11階
Tel.03-3265-7855 Fax.03-5211-8100

・旭川市商工観光部総務労政課 〒070-8525 旭川市6条通10丁目 旭川市第3庁舎3階
Tel.0166-25-7152 Fax.0166-26-7093

(平成17年3月29日現在)

同窓会ホームページからのお知らせ

HP管理委員長 3M 土井 正敏



ホームページは<http://kyokusen-dosokai.jp>です。

【初期ID、パスワードの変更 Member'sRoom】

同窓会員専用ページの初期値を変更していない方は初期値でログインして必ず変更して下さい。初期値は下記です。

ID:
PW:

【住所不明者 Member'sRoom】

会報等が届かず同窓会の様子を知ることが出来ない住所不明会員が、約1/3おられます。他会員の連絡先も入力可能ですので、会員住所の充実にご協力下さい。

検索結果表示画面【1/90】番 検索データ(35016件中、1792件です)

【総会の様子と記念講演 BULLETIN&Member'sRoom】

全国総会の様子と、記念講演の録音を掲載しています。総会に出席出来なかった方は是非ご覧下さい。

◀['02総会記念講演] ▶ ['04総会記念講演]

◀[サンデー毎日の記事]

【リンクページの新設 LINK】

会員の皆さんのPR用にリンクページを新設しました。私設ページで

お持ちの方は、連絡を頂ければ掲載します。

ページタイトル	見本	掲載コメント	申請者
タイヤ表面再生研磨加工機「けんま君」		コスト削減も取り扱っていただきました。	130404
自然食品の店 すこやか広場		又様の二人申し出ています。	01/05/09
北のIT kitanoit.com		2005年からITの会社を始めました。	01/05/09

【イベントページ EVENT】

各支部、各期が開催するイベントを掲載しています。開催案内通知、出欠状況回収に利用して下さい。

【EVENTのご案内】 毎々の出欠通知

【支部例会のご案内】 詳細は各案内ページでご確認下さい

旭川の案内ページ(通常: 偶数月の5日 居酒屋 花咲(かさ))
札幌の案内ページ(通常: 偶数月10日 札幌駅北口 うみぼうず)
東京の案内ページ(通常: 奇数月の最終土曜 恵比寿 じょう)

【リレー投稿 Member'sRoom】

会員各氏の様子を掲載しています。自主投稿も受付ていますので、近況等を連絡して下さい。

【情報提供のお願い Registration】

ホームページをより充実、活性化するには皆さんの記事情報が必要です。情報の提供にご協力下さい。

各地区の情報スタッフ、技術スタッフも募集しています。

【個人情報保護 Guide&Manual】

個人情報の保護に対する関心が、より高まっています。本部ページでは、SSLの使用、パスワードの設定等を行って万全を期して運用していますのでご安心下さい。

連絡メールの宛先はhp-admin@kyokusen-dosokai.jpです。